

看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校(はまかん) <https://hamada.hosp.go.jp/hamakan/>

浜田医療センター附属看護学校の パンフレット・ホームページが新しくなりました

教育主事 藤井 光輝

▶新しくなったパンフレット



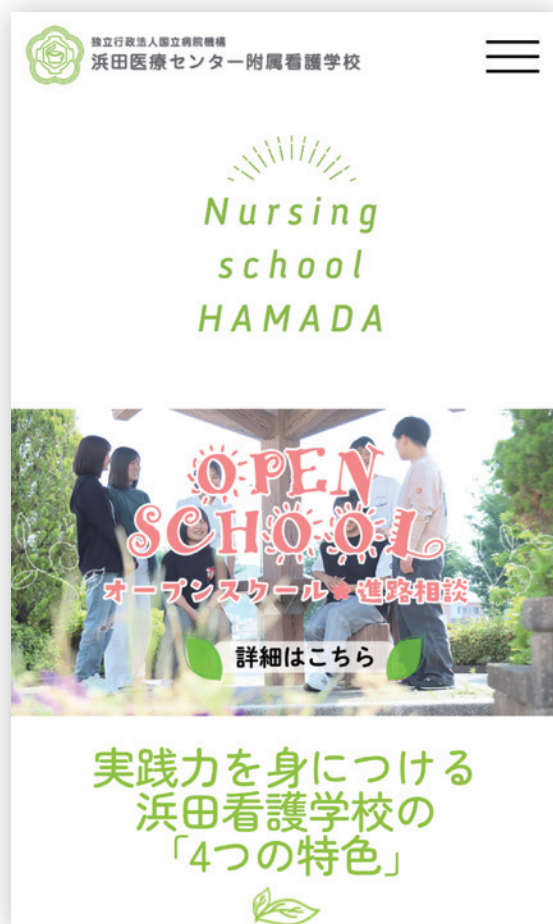
本校は昭和28年の開設以来、浜田市を中心とした島根県のみならず全国の医療機関に2285名の卒業生を輩出してきました。

近年は、少子化の影響を受け島根県内の看護系学校は受験者が減少しています。そのため、島根県内の医療機関の維持が困難になりつつあります。

多くの受験者を確保して質の高い医療者を浜田市や島根県内に輩出できるように、他校とは異なる点を示し、差別化すべき教育内容も求められています。また本校をより多くの方に知ってもらえるような時代に合わせた募集方法も必要となっています。

そこで、本校の他校とは異なる教育内容とリニューアルされたパンフレット・ホームページについてご紹介いたします。

▶新しくなったホームページ



ホームページはこちらからチェック！



本校でしかできない教育：4つの特徴

本校は他校にはない強みがあります。

1 国立病院機構附属の看護学校である

看護学校では約10か月、病棟などで実習を行います。23単位(1035時間)を修めます。本校は母体病院である浜田医療センターで8割以上が行えます。学校と臨床は他校にはできない密な連携で学生を支援します。すべての職員が講師となり学生を支援します。

2 コミュニケーション能力を高める教育に力を入れている

1年次から中山間地域で地域の方々と触れ合い現状を知る機会を設けています。学生たちに人気が高い民泊実習では、昔から地域で親しまれている温泉に行ったり、料理を一緒に作ったり、地域の方々は何を大切にしているのか、何に困っているのか、医療者として何が求められているのか知る機会を設けています。学内でもアクティブラーニング(主体的な学び)を展開し個々の能力を高める教育が行われています。

民泊実習



3 ICT(情報通信機器を使用した)教育が優れている

地方の学校から最先端の教育で効果的・効率的な学びを得ることを目的に電子テキストや情報共有システムなど導入しました。何冊もテキストを持ち歩くことなく動画閲覧や検索もスムーズです。

共有システムでは課題提出や授業の様子を動画で見返し復習などに役立てることが出来ます。広島、山口、本校の3県をオンラインでつなぐ授業も展開しており、国立病院機構のネットワークを活かした取り組みも他校ではできない取り組みです。

ICTを用いた教育

Webクラスの設置や遠隔でも高度なICT教育を通じて、医療現場に必要な情報技術の活用といったデジタルリテラシーを習得することで、現代の医療現場での情報の管理や分析、活用や提供といったスキルを習得し、医療の現場で役立つ能力を身につけます。



教育に活用しているWeb Classとは

本学では授業支援システムとして、「WebClass」を導入しています。「WebClass」は講義で使用する教材の掲載から、小テストやレポートの提出をすることが出来るE-learningシステムです。パソコンが苦手な人でも簡単に操作でき、使い慣れているWord、Excel、PowerPointなどで作成されたファイルを取り込むこともでき、看護の学びを深めながら、デジタルリテラシーの向上も図めます。



ホームページより

4 キャリア支援が充実している

就職率100%はもちろんですが、卒後も通用する、キャリア形成できる支援を行っています。

パンフレット・ホームページで 浜田看護学校を表現してみました

本校は、浜田市や島根県、地域の方々に支えられ歴史を刻んできました。良き伝統を大切にしながら新たな取り組みに舵を切っています。パンフレットでは、地域の学校の良さを海や山、中山間地域の写真を用いて表現しています。また、最先端教育や学生自身が学生生活を楽しむ大切さを表現しています。

ホームページでは、本校の4つの特徴や学生生活の様子など写真や動画を用いて、楽しめるものになっています。学生自身が作成してくれた施設案内動画なども楽しめると思います。本校の他校にはない良い点を多くの方に知ってもらい本校で多くの方に学んでいただき地域の医療を支えてほしいと願っています。